

政策シート

(政策名) “まち”と“むら”をつないで実現する中山間地域の振興
(予算費目名) 中山間地域振興費

(総合計画体系)

「分野」 地方自治・都市経営

30年後の姿 協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。

- 10年後の目標
- ・ 協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。
 - ・ 公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 だれもがいきいきと暮らせる市民主体の地域社会の実現

◇政策の概要

市内の中山間地域と都市部の交流(市内間交流)を核として、様々な交流機会を創出する。交流を深めることで連携・協働による地域の自立を促進するとともに、交流をきっかけとして移住者を増加させることで中山間地域の振興を実現する。
また、移住コーディネーターを配置することで移住・定住を促進するとともに、生活し続けることができる環境づくりのため、あらたな仕事づくりの研究やドローンを活用する環境づくりを進め、事業者主体による事業化や産業化に結びつける。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	439,302	301,944	341,204
決算	261,988	248,629	
人件費(A)	37,800	37,800	37,800
報酬(B)	141	880	1,056
年間経費(予算又は決算+A+B)	299,929	287,309	380,060

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
中山間地域の人口減少率 (本年人口÷前年人口×100-100)	%	-1.8	目標	-2	-2.4	-2.35
			実績	-2.5	-2.9	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

市内の中山間地域と都市部の交流(市内間交流)を核として、様々な交流機会を創出することができた。交流を深めることで連携・協働による地域の自立を促進した。交流をきっかけとして移住者を増加させるには、時間が必要であり、今年度は目標に至らなかった。
また、移住コーディネーターを配置することで移住・定住を促進するとともに、生活し続けることができる環境づくりのため、あらたな仕事づくりの研究やドローンを活用する環境づくりを進め、事業者主体による事業化や産業化に結びつける動きができた。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
まちむらりレーション市民交流会議、子ども中山間地域交流事業などにより、新たな市内間交流の機会を設け、“まち”と“むら”の関係構築を促進した。田舎暮らしプロモーションのほか移住支援制度の充実により、移住の実現のみならず、移住後の定住支援にも制度が活用された。政策の進捗は概ね計画どおりである。今後は、中山間地域振興のため、交流を連携に発展させること、移住を定住に結びつけるとともに、人口流出を抑制することが課題である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	市内間交流事業	○	○			21,686	10,486	1.4			0.5
2	居住促進事業	○	○	○		16,752	6,252	1.3			0.5
3	生活支援事業	○	○	○		65,721	55,565	1.3			1,056
4	中山間地域まちづくり事業	○				103,907	100,407	0.5			
5	中山間地域コミュニティビジネス 起業資金貸付事業	○	○	○		8,500	5,000	0.5			
6	過疎地域自立促進事業基金 積立金(一般諸経費のみ)					161,518	161,518				
7	中山間地域振興運営経費 (一般諸経費のみ)					1,976	1,976				
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						380,060	341,204	5			1 1,056

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 市内間交流事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域振興のため、多くの市民の中山間地域に対する関心を高めるよう、中山間地域と都市部の交流促進を図る。

◇事業の概要

- 子ども中山間地域交流事業(都市部小学生と中山間地域小学生・地域住民等との交流コーディネート)
- ザ・山フェス開催事業(やまとまちのコラボによる山の魅力体感イベント)
- 地域づくりインターンモデル事業(都市部大学生による中山間地域の課題発見・解決を目指すインターン)
- 交流促進事業
 - ・中山間地域交流ツアー(都市部小学生親子を対象に中山間地域の魅力を紹介するバスツアー)
 - ・まちむらりレーション市民交流会議(オール浜松で中山間地域の可能性を考えるシンポジウム)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	10,066	10,776	10,486
	決算	8,327	9,658	
	国・県支出		8,038	
	市債			
	その他		900	5,000
	一般財源	8,327	720	5,486
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		11,200	11,200	11,200
人工	正規	1.4	1.4	1.4
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.5	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市が実施する交流事業の回数(回)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	20	21	22	23	24	30
実績値	20	27				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

- 子ども中山間地域交流事業(都市部小学生と中山間地域小学生・地域住民等との交流コーディネート)
- ザ・山フェス開催事業(やまとまちのコラボによる山の魅力体感イベント)
- 中山間地域交流ネットワーク事業(都市部ボランティア等希望者と中山間地域の団体の交流マッチング)
- 地域づくりインターンモデル事業(都市部大学生による中山間地域の課題発見・解決を目指すインターン)
- 交流促進事業
 - ・浜松田舎暮らしラボ(都市部若年女性による中山間地域の暮らし体験ラボ)
 - ・中山間地域交流ツアー(都市部小学生親子を対象に中山間地域の魅力を紹介するバスツアー)
 - ・まちむらリレーション市民交流会議(オール浜松で中山間地域の可能性を考えるシンポジウム)

・事業の成果と課題

指標の達成度

市が実施する交流事業の数は、目標21に対して実績27であり、最終年度目標30に向け、計画どおり進んでいる。

【H28年度実績】

子ども中山間地域交流4回、ザ・山フェス開催1回、交流ネットワーク16回、地域づくりインターン1回、田舎暮らしラボ3回、中山間地域交流ツアー1回、まちむらリレーション市民交流会議1回

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市内間交流や地域間連携を促進するため、中山間地域づくり活動に取り組むNPO、企業、市民等が一同に会し、中山間地域について考える事業として、シンポジウム「まちむらリレーション市民交流会議」を開催し171人が参加した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市内間交流の促進は今後も交流機会を拡大していく必要があり、直接実施のほか、委託による実施や協働の手法を取り入れながら、さらに交流を促進していく。

事業シート (事業名) 居住促進事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域の振興のため、中山間地域の集落機能が維持できるよう、都市部からの移住・定住の促進を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.121】

- Welcome集落事業(移住者を受け入れる集落側の活動に対する報償費:移住実績1人につき10万円)
- 田舎暮らしお試し住宅事業(田舎暮らし希望者がお試し居住するためのお試し住宅運営)
- 地域移住支援体制整備事業(田舎暮らし推進団体(地域NPO法人)への相談対応謝礼等)
- 田舎暮らし体験事業(田舎暮らし希望者を現地案内等するもの)
- 移住促進空き家活用助成事業(移住する際の空き家改修・清掃補助金:事業費の1/2・改修90万円・清掃15万円上限)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	18,811	21,812	6,252
	決算	14,898	17,045	
	国・県支出		3,005	
	市債			
	その他		1,758	5,353
	一般財源	14,898	12,282	899
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)				
人件費(千円)		10,500	10,500	10,500
人工	正規	1.3	1.3	1.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤	0.5	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人)				Ⅲ-2(3)イ		121
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	15	15	17	19	20	20
実績値	19	15				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.121】
 ○Welcome集落事業(移住者を受け入れる集落側の活動に対する報償費:移住実績1人につき10万円)
 ○田舎暮らしお試し住宅事業(田舎暮らし希望者がお試し居住するためのお試し住宅運営)
 ○田舎暮らしプロモーション事業(ウェブサイト管理運営、相談会出展等、首都圏ポスター掲出、首都圏移住PR)
 ○地域移住支援体制整備事業(田舎暮らし推進団体(地域NPO法人)への相談対応謝礼等)
 ○田舎暮らし体験事業(田舎暮らし希望者を現地案内等するもの)
 ○事務局事務費(首都圏移住推進団体等との連携)
 ○熊地区教職員住宅建設資金償還金(お試し住宅で活用している旧教職員住宅分として移管された建設資金償還金)
 ○移住促進空き家活用助成事業(移住する際の空き家改修・清掃補助金:事業費の1/2・改修90万円・清掃15万円上限)
 ○中山間地域移住コーディネーター事業(移住推進のため移住コーディネーターを設置するもの)

・事業の成果と課題

指標の達成度

 市の事業を活用した年間移住者数は、目標15人に対して実績15人であり、計画どおり進んでいる。最終年度の目標年間30人に向け、今後も進めていく。
 【H28年度利用事業ごとの移住実績】
 Welcome事業0人、お試し住宅0人、空き家活用事業2人、相談会・相談対応11人、田舎暮らし体験0人、山いき隊制度4人
 (複数事業の重複利用、他の制度利用があるため合計移住者数に一致しない)

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

移住促進施策としてWelcome集落事業を実施し、集落による移住支援体制を強化した。今年度の募集で、あらたに4集落がWelcome集落となり、合計8集落がWelcome集落として登録されたが、これらによる移住者は0名であった。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

移住促進は、中山間地域集落の維持に欠かせないものであり、直接実施のほかNPO、集落、自治体などとの協働事業を拡大していく必要がある。増加したWelcome集落に対し、移住希望者を直接紹介する仕組みを構築する。

補助シート (事業名) 居住促進事業

◇事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
121	Welcome集落制度設計 (H27年度前期) Welcome集落制度周知・ 募集・事業実施(H27年 度後期)	Welcome集落事業実施	Welcome集落事業実施	Welcome集落事業実施

事業シート (事業名) 生活支援事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域の集落機能の維持、向上のため、外部人材の積極的な活用や地域の新たな産業創出の可能性の研究等を行い、地域の活性化を図る。

◇事業の概要

- 浜松山里いきいき応援隊活動事業(地域おこし協力隊を採用・配置し地域振興や生活支援のため活動させるもの)
- 乗用モノレール整備等助成事業(公道から自宅まで乗用モノレールを設置する補助金:事業費の1/2、上限140万円)
- 天竜区道整備原材料支給事業(地域自ら行う道路補修等に対してコンクリート等の原材料を支給するもの)

【重点戦略項目 No.122】

- 中山間地域新たな仕事づくり研究事業(事業化・産業化を目指し行う、研究・実証実験)
- ・あらたな仕事づくり研究事業(アワビ陸上養殖・ジビエ活用のための研究、実証実験)
- ・中山間地域遊休資産活用事業(遊休施設活用のための売り込み及び、ドローン活用環境整備による施設活用促進)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S37	-	一般会計	自治事務	過疎法、辺地法	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	44,953	70,439	55,565
	決算	35,933	54,135	
	国・県支出		7,475	
	市債			
	その他		700	8,700
	一般財源	35,933	45,960	46,865
一般会計繰入金				
人件費(報酬等) (千円)		141	880	1,056
人件費 (千円)		9,100	9,100	9,100
人工	正規	1.3	1.3	1.3
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
山里いきいき応援隊の隊員数(人)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	12	12	12	18	18	18
実績値	12	10				
新たな仕事づくり事業数累計(事業)				-		122
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	1	2	2	3	3	5
実績値	1	1				
市の事業を活用した中山間地域への年間移住者数(人)				Ⅲ-2(3)イ		121
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	15	15	17	19	20	20
実績値	19	15				
遊休施設を利用して事業を実施している民間企業などの数(団体)				Ⅲ-2(3)イ		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	5	6	7	8	10
実績値	5	8				

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○浜松山里いきいき応援隊活動事業(地域おこし協力隊を採用・配置し地域振興や生活支援のため活動させるもの)
 ○乗用モノレール整備等助成事業(公道から自宅まで乗用モノレールを設置する補助金:事業費の1/2、上限140万円)
 ○天竜区道整備原材料支給事業(地域自ら行う道路補修等に対してコンクリート等の原材料を支給するもの)
 ○過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業(集落ネットワーク圏を形成し、日常生活支援機能を確保し、地域産業を振興する取り組みを支援するもの)
 【重点戦略項目 No.122】
 ○中山間地域新たな仕事づくり研究事業(事業化・産業化を目指し行う、研究・実証実験)
 ・あらたな仕事づくり研究事業(アワビ陸上養殖・ジビエ活用のための研究、実証実験)
 ・中山間地域遊休資産活用事業(遊休施設活用のための売り込み及び、ドローン活用環境整備による施設活用促進)

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

山里いきいき応援隊活動事業は、隊員数目標12人に対し実績10人を配置。隊員活動を広く周知するため、シンポジウム等で発表する機会を設けた。
 あらたな仕事づくり研究事業は、1事業を実施。アワビ養殖についての研究会を運営し、実証実験の規模を拡大した。
 遊休資産活用事業は、目標5団体に対し7団体が活用している。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

山里いきいき応援隊活動事業は、中途での退任があり12人の隊員を維持できなかった。集落ネットワーク圏形成事業として、人と自然「龍山らしさ」交流プロジェクトを支援した。
 あらたな仕事づくり研究事業は、民間を巻き込んだ「あらたな仕事づくり研究会」に新たな専門家を迎え、アワビの陸上養殖の実証実験民間委託の規模を拡大した。遊休資産活用事業は、目標を超える団体が施設を有効活用した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

山里いきいき応援隊事業は、常時12人の隊員を確保するため、随時募集形式を取り入れ、有望な隊員を確保するとともに、配置する地域のニーズを確認して、H30年度から全18人に拡大していく準備を整える。
 あらたな仕事づくり事業は、アワビの養殖のほか、ジビエ、市の遊休資産、都市部で規制を受けるドローンなどを活用し、産業化や雇用の場確保に向け研究、実証実験を拡大していく。

補助シート (事業名) 生活支援事業

◇事業工程表(No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
122	研究会養殖部会発足 事業検討 養殖実験開始	研究会養殖部会 事業検討 養殖実験継続 浜松ドローンイノベー ション会議開催	研究会養殖部会 事業検討 養殖実験継続 研究会ジビエ部会 事業検討 ジビエ実験開始 ドローン協議会発足 施設活用開始	実証実験継続 水産食用試験 ジビエ流通試験 施設活用拡大

事業シート (事業名) 中山間地域まちづくり事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域に生活する市民が、自ら発案し、行動することによって、地域の活性化に寄与できるように、地域の実情に詳しい住民と行政などが協働による地域づくりを推進する。

◇事業の概要

○中山間地域まちづくり事業

中山間地域で活動するNPO法人等が地域の課題を解決する事業を提案する。市はこれを審査し、適切と認められた場合、交付金を交付する。提案できる事業＝中山間地域振興計画の趣旨に沿ったもの。交付金交付割合10/10。交付上限額1千万円。

○まちづくりスクールin里山

地域づくりに取り組む中山間地域のNPO法人を対象に、地域づくりの実践の参考になる講演会をスクール形式で実施するもの。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H24	H33	一般会計	自治事務	-	○	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	201,427	31,407	100,407
	決算	41,330	3,881	
	国・県支出			
	市債			
	その他		3,881	100,000
	一般財源	41,330		407
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
中山間地域まちづくり事業採択事業累計(事業)						
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	15	17	19	20	22	25
実績値	14	15				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

○中山間地域まちづくり事業
 中山間地域密着型NPO法人が地域の課題を解決する事業を提案する。市はこれを審査し、適切と認められた場合、交付金を交付する。提案できる事業＝中山間地域振興計画の趣旨に沿ったもの。交付金交付割合10/10。

○まちづくりスクールin里山
 地域づくりに取り組む中山間地域のNPO法人を対象に、地域づくりの参考になる講演会を実施するもの。

・事業の成果と課題

指標の達成度

中山間地域まちづくり事業の採択事業累計は、目標17事業に対し15事業であり、概ね計画どおりに進んでいる。新規事業として、中山間地域のNPO法人を対象として、まちづくりスクールIN里山を1回開催し、まちづくりの実践についての知識を深めるとともに、地域のNPO同士の活動内容の情報共有を図った。

・事業の見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

中山間地域まちづくり事業は、年2回の事業提案期間を設け、コミュニティ担当職員などが相談や提案書作成のアドバイスなどを実施。その後、申請された事業について審査会で採否を諮り、1回目申請0件、2回目2事業申請に対し1事業を採択した。新規事業として、まちづくりスクールIN里山を1回開催し、82名が参加した。基調講演講師に神山町のNPO代表大南氏を招いたほか、1日で計5コマの教室を開催した。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

H29年度から制度をリニューアルし、新・中山間地域まちづくり事業を実施する。一定の要件の下で都市部のNPO等にも申請を認めるほか、交付金額に上限を設けることで、実施団体の創意工夫を生かせる柔軟な制度とする。中山間地域のまちづくりに役立てるため、外部講師を招きNPO活動を支援する「まちづくりスクールin里山」を継続して開催する。

事業シート (事業名) 中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域の振興のため、中山間地域の生活環境改善と、移住者の就労機会促進による定住支援を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.120】

○中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

中山間地域に移住してコミュニティビジネスを起業しようとする方に、起業にかかる初期投資費用を100万円を限度に貸し付けるもの。(対象者:これから中山間地域に移住しようとする方、又は移住して3年以内の方。貸付を受け3年間定住して事業を継続した場合、返済を免除する)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務	中山間地域コミュニティビジネス等起業資金貸与条例	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	5,000	5,000	5,000
	決算	2,998	2,000	
	国・県支出			
	市債			
	その他		1,900	3,300
	一般財源	2,998	100	1,700
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,500	3,500	3,500
人工	正規	0.5	0.5	0.5
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
貸付事業を活用した起業件数累計(件)				-		120
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	5	10	15	20	22	30
実績値	3	4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

【重点戦略項目 No.120】

○中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

中山間地域に移住してコミュニティビジネスを起業しようとする方に、起業にかかる初期投資費用を100万円を限度に貸し付けるもの。(対象者:これから中山間地域に移住しようとする方、又は移住して3年以内の方。貸付を受け3年間定住して事業を継続した場合、返済を免除する)

・事業の成果と課題

指標の達成度

コミュニティビジネス起業資金貸付事業は、目標起業件数累計10件に対し4件であり、遅れている。事業の周知が不十分で、移住に対するインセンティブとして十分に機能していない。既に移住した者については、貸付申請の相談はあったものの、提出期限までに事業計画が完成しなかったケースがある。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

H28年度は、年2回の受付期間を設け、1回目申請2件に対し貸付1件、2回目申請1件に対し貸付1件であった。貸付制度に適合しない申請に対する貸付不可が1件あった。H27年度貸付事業のうち、事業実施困難として事業中止・貸付金返還が1件あった。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

商工会議所や金融機関等、市内外の関係機関と連携し、本制度を広く周知していく。また、山里いきいき応援隊の任期終了予定者には、本制度を活用するよう引き続き呼びかけていく。さらに、貸付により起業した事業を広く周知し、貸付制度の効果をPRする。

補助シート (事業名) 中山間地域コミュニティビジネス起業資金貸付事業

◇事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
120	貸付金要綱作成 (H27年度前期) 貸付制度周知・募集・事業実施(H27年度後期)	貸付金要綱作成 (H28年度前期) 貸付制度周知・募集・事業実施(H28年度後期) 貸付活用事例PR	貸付事業実施	貸付事業実施

事業シート (事業名) 過疎地域自立促進事業基金積立金(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	156,423	160,188	161,518
	決算	156,422	160,188	
	国・県支出			
	市債	156,200	160,100	161,500
	その他	222	88	18
	一般財源			
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

事業シート (事業名) 中山間地域振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	2,622	2,322	1,976
	決算	2,080	1,722	
	国・県支出			
	市債			
	その他			357
	一般財源	2,080	1,722	1,619
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)				
人工	正規			
	再任用(h31)			
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						